



◀HPはこちら

国立市公民館主催・文学講座

くにたちブッククラブ

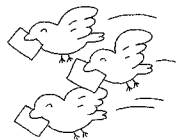
たしかにそこにいた「わたし」のこと

この講座では、参加者それぞれの作品を読んだ感想や講師のお話を聞いて、「読み」を深めます。「その経験がのちの人生のためになる」とか「神様は乗り越えられる人しか試練を与えない」とか、ひとは出来事に意味を見出そうとします。生まれ、暮らして、死んでゆく、ありふれたわたしたち。喜びがあり、悲しみがあり、希望と絶望がある……。そこに意味は必要なのでしょうか。消えてしまう一人ひとりの話を宝物のように紡いでいく。そんな物語を読んでいきたいと思います。穏やかな雰囲気のできですので、どなたでもお気軽にご参加ください。

と き と ころ 申 込 先	1 / 9 (木)	12 / 12 (木)	11 / 14 (木)	10 / 10 (木)	9 / 12 (木)	7 / 18 (木)	6 / 13 (木)	5 / 9 (木)	月 日
夜7時半～9時半 公民館 講座室 定員 30名 4月11日(木)朝9時 公民館 ☎042(572)5141	馳星周 『少年と犬』 (文春文庫)	滝口悠生 『高架線』 (講談社文庫)	河林満 『湯水』 (角川文庫)	大江健三郎 『取り替え子』 (講談社文庫)	太宰治 『ヴィヨンの妻』 (新潮文庫)	林芙美子 『放浪記』 ※第一部を共通課題とします。 (新潮文庫)	坂東眞砂子 『神祭』 (角川文庫)	井戸川射子 『「じい」はつても速い川』 (講談社文庫)	作品
	大野 亮司 (亜細亜大学・日本近代文学)	深津 謙一郎 (共立女子大学・日本近代文学)	佐藤 泉 (青山学院大学・日本近代文学)	榎本 正樹 (文芸評論家・現代日本文学)	尾崎 名津子 (立教大学・日本近代文学)	小 ^た 平 麻衣子 (慶應義塾大学・日本近代文学)	大木 志門 (東海大学・日本近代文学)	山岸 郁子 (日本大学・日本近代文学)	講 師

※12月は夜7時～9時です。

くにたちブッククラブに 参加してみませんか？



国立市公民館では、毎年様々な文学作品について学ぶ「くにたちブッククラブ」という講座を実施しています。

講座では毎回、取り上げた作品の感想を参加者で共有し、講師に作品の解説をしていただきます。課題図書は、毎年参加者と講師、職員が話し合いながら決めていきます。

気になる作品の回だけ参加するのモアリ！年間通して参加すれば、文学についてより深く学べること間違いなし！
まずはお気軽にお問合せください♪

○各回の流れ

前半一時間：参加者の感想の共有。一人あたり二～三分程度で簡単に感想を発表

後半一時間：講師から作品についてのお話
※前半と後半は入れ替わることがあります。

講座終了後には、参加者一名にその回の感想文を書いていただきます。感想文は図書室月報に掲載されます。

○年間スケジュール

五月～一月 「くにたちブッククラブ」各回実施

十二月中旬～一月中旬 来年度取り上げたい作品のアンケート受付
一月中旬頃 参加者と職員による今年度の振り返り、来年度の作品

についての話し合い

二月中旬頃 来年度の作品についてブッククラブアドバイザーの講師を交えた話し合い

○文集を作っています！

その年に取り上げた課題図書についての感想文を掲載する文集を作成しています。一年の締めくくりに文集づくりに参加して、より一層学びを深めましょう。(文集作成への参加は任意です。)

《文集づくりのスケジュール》

十二月中旬～二月上旬 作品の感想文の執筆期間

二月下旬頃 参加者と職員で文集の読み合わせ、校正等

三月下旬～四月上旬頃 文集完成